

第73回全日本女子ホッケー選手権大会実施要項

(社) 日本ホッケー協会

1. 大会名 第73回全日本女子ホッケー選手権大会
2. 主催 社団法人 日本ホッケー協会
3. 主管 奈良県ホッケー協会
4. 後援 毎日新聞社 毎日放送 スポーツニッポン新聞社
奈良県 奈良県教育委員会 (財)奈良県体育協会
天理市 天理市教育委員会 天理市体育協会
5. 協賛 関西ホッケー協会 関西学生ホッケー連盟 天理市ホッケー協会
6. 期日 予選リーグ：平成24年11月23日(金・祝)～11月25日(日)
順位決定戦：平成24年12月1日(土)～12月2日(日)
7. 会場 親里ホッケー場
8. 参加資格 第34回女子全日本社会人ホッケー選手権大会 1～4位チーム
第34回女子全日本学生ホッケー選手権大会 1～4位チーム
いずれも、(社) 日本ホッケー協会に登録されている者に限る。
9. 参加人員 監督1名、コーチ1名、ドクター1名・フィジオセラピスト1名(または手当をする者2名)、選手22名以内、合計26名以内とする。
10. 参加料 1チーム40,000円 (納入された参加料はいかなる理由があっても返却しない)
11. 参加申込 別紙参加申込書に必要事項を記入の上、『正・副・写』の3通を作成し、所属協会長の承認を受け、『正、副』2通を、下記《A》宛て申し込むこと。また、『写とプログラム用原稿用紙』に参加料の支払いが確認できる書類(写で可)を添えて、下記《B》宛てに送付すること。(E-mailでも同時に送信すること)
《A》『正・副』送付先：
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内 (社)日本ホッケー協会
TEL 03-3481-2330 FAX 03-3481-2329
E-mail info@japan-hockey.org
《B》『写とプログラム用原稿用紙』送付先：
〒632-0032 奈良県天理市杣之内町78 親里ホッケー場内
全日本ホッケー選手権大会実行委員会 担当 奥田好廣 宛
TEL 0743-67-0247 FAX 0743-67-1757
E-mail bbwrk326@ybb.ne.jp
◎参加料振込先：南都銀行 天理支店(普) No. 2147152
全日本ホッケー選手権 担当 奥田好廣
12. 申込締切 社会人チーム 平成24年10月4日(木)
大学生チーム 平成24年11月8日(木)
※期日厳守のこと。
13. 競技規則 平成24年度(社)日本ホッケー協会競技規則による。
14. 試合方法 参加チームをA・B各4チームに分けて予選プールマッチを行い、両プール1・2位チームが順位決定戦を行う。
組み合わせは、以下のとおりとする。
予選Aプール 社会人1位・4位 大学2位・3位
予選Bプール 社会人2位・3位 大学1位・4位

15. 競技日程 ○予選リーグ（第1・2・3日）
第1試合 9：30 第2試合 11：10
第3試合 13：10 第4試合 14：50
○順位決定戦（第4日）
準決勝第1試合 11：00 準決勝第2試合 13：00
○順位決定戦（最終日）
決勝 11：00
16. 宿泊・弁当 宿泊及び弁当の斡旋を希望するチームは、大会事務局に申し出ること。また、宿舍の斡旋を希望しないチームも『宿泊場所、または、大会期間中の連絡先』を前記《B》宛てに通知すること。
17. 開会式、監督主将会議、閉会式
＜開 会 式＞ 平成24年11月22日（木）18時から
ウエルカムハウス・コトブキ
＜監督主将会議＞ 平成24年11月22日（木）開会式終了後
ウエルカムハウス・コトブキ
〒632-0016 天理市川原城町53番地3
TEL 0743-62-5555 FAX 0743-63-5176
※監督主将会議は、その任にあるものが出席する。監督・主将が特別な理由により欠席する場合は、必ず代理人を出席させること。
※監督主将会議には、登録ユニフォーム2着（上着、スコート、ストッキング）・予備ユニフォームを持参すること。なお、ゴールキーパーのユニフォームは上着だけでよい。
＜閉 会 式＞ 平成24年12月2日（日） 決勝戦試合終了後
親里ホッケー場
18. そ の 他 ①参加申込後の選手の変更は、11月20日（火）午後5時必着とする。メールにて前記《A》と《B》に同送すること。以降の変更は一切認められない。また、役員（日本協会登録済みであること）の変更についても同期限までに同様に行うものとする。なお、参加申込み後の背番号の変更は認めない。
②選手の背番号は1～30を使用すること。
③開会式には、各チームの監督主将会議に出席するものが参加しなければならない。参加しないチームは大会の出場を取り消す場合がある。
④選手は健康保険証を必ず携帯すること。万一負傷等事故があった場合、応急措置はするが、その後の治療は参加選手自身と各チームの責任において行うこと。
⑤競技会場では、人工芝用スパイクシューズ以外の使用を禁止する。
⑥大会参加に伴うチームの移動については、チームの責任において行うこと。
⑦荒天またはフィールド状態不良時には、試合時間・会場の変更、大会期日の順延などが行われる。特に、雷鳴・雷注意報等により、試合の緊急停止等の処置をすることがある。その判断は、TDと実行委員会が行う。
⑧大会期間中にドーピング検査を実施する。

以上